

学校評価報告書（中間評価）

<評価の流れ>①外部アンケート、自己評価アンケート結果の分析→②自己評価改善策→③学校関係者評価委員会→④公表

評価：各アンケートの肯定評価（A+B）の割合

| | 自己評価 | | | | 外部評価 | | | | 分析結果 | | | | |
|---------------|--|----|---|-------------------|------|--|----|--|------|--|---|--|---|
| | 評価項目 | 番号 | 評価項目 | 評価方法・指標 | 評価 | 保護者アンケート | 評価 | 児童アンケート | 評価 | 具体的な取組・成果 | 課題・改善策 | | |
| 学力 | 効果的なICTの活用・授業改善 家庭学習習慣、基礎・基本的な知識及び技能の定着 | 1 | ICTの効果的な活用と板書のバランスを考えたわかりやすい授業に努めている。 | 活用頻度 | 100 | タブレットを使った学習はわかりやすいと言っている。 | 98 | タブレットを使った学習は、わかりやすい。 | 100 | タブレットを活用することで児童の意欲が高まる。ノートには自分の考えを書けない子どもタブレットを用いると書けることがある。 | 授業の中で、大型モニターとchromebook、既習提示、黒板やノートの使い分けをしっかりとる。 | | |
| | | 2 | 漢字コンテストで目標達成率（90%以上）を達成できている。 | 合格点達成率 | 83 | 学年に応じた漢字の力を身に付けている。 | 94 | 習った漢字を練習し、正しく書くことができる。 | 96 | 校内コンテストは児童にとって達成感が味わえるよい取組になっている。目標点数を決め、継続的な取り組みができた。 | 漢字に興味があることを意識させていく。授業タイムを利用した漢字小テストを実施する。 | | |
| | | 3 | 計算コンテストで目標達成率（90%以上）を達成できている。 | 合格点達成率 | 100 | 学年に応じた計算の力を身に付けている。 | 98 | 計算問題や漢字の関連性は、必ず直しをしている。 | 98 | 計算問題や漢字の関連性は、必ず直しをしている。 | 92 | 学期末に行うことで、忘れていくところを再度集中して練習できた。目標点数を決め、継続的な取り組みができた。 | 学習したことを忘れる児童が多いので、授業タイムや家庭学習で繰り返し復習する。 |
| | | 4 | 家庭学習の内容や方法等具体的に指導し、家庭学習の定着に努めている。 ※1年:20分、2年:30分、3年:40分、4年:50分、5年:60分、6年:70分 | 学年目標時間達成率 | 100 | 家庭学習の習慣が身につけている。 | 81 | 学年の目標時間、家庭学習をしている。 ※1年:20分 2年:30分 3年:40分 4年:50分 5年:60分 6年:70分 | 92 | 家庭学習強化週間は児童の意欲が高く集中して家庭学習に取り組んでいる。ドリルの直しがあるところに付箋を貼って直しをしっかりとさせた。徐々に直しをする習慣が身につけてきた。 | 92 | 家庭学習強化週間は児童の意欲が高く集中して家庭学習に取り組んでいる。ドリルの直しがあるところに付箋を貼って直しをしっかりとさせた。徐々に直しをする習慣が身につけてきた。 | 宿題直しを確実に学校で行い、基本的内容の定着と家庭学習に取り組みややすくしていく。 |
| 知徳体バランスのとれた学校 | 豊かな心 思いやり・助け合うことができる子の育成 | 5 | 挨拶の定着・習慣化 | 肯定評価 | 100 | 「挨拶」の習慣が身につけている。 | 98 | いつも大きな声で気持ちのよい「あいさつ」をしている。 | 98 | 毎日認める言葉をかけることで、ほめられている友だちをまねる子が出てきたり、習慣化してきたりしている。 | 決められた場所以外、学校外でのあいさつは恥ずかしがったり、どのような挨拶をすればよいかわからないことがあるので、引き続き指導をしていく。 | | |
| | | 6 | 粘り強くやり抜く子の育成 | 目標の持たせ方・達成状況 | 100 | 勉強や行事などで、目標を持って粘り強く取り組んでいる。 | 88 | 勉強や行事などで、目標を持って粘り強く取り組んでいる。 | 92 | めあてカードに書いて、掲示することで意識づけができた。 | 周りと比べて自分ができていないと判断し、消極的になってしまう子もいる。前向きに取り組めるように、その子に合わせた声掛けをしている。 | | |
| | | 7 | 相手の気持ちを考えた思いやりの心を育む取り組みをしている。 | 児童の様子・観察 | 100 | 相手の気持ちを考えた思いやりの心を育む取り組みをしている。 | 88 | 相手の気持ちを考えた思いやりの心を育む取り組みをしている。 | 88 | 帰りの会などで、友達の良いところを付箋に書くことで、自然と友達の良いところに目が向き、まねをする児童が増えた。 | 2学期も継続して取り組む。 | | |
| | | 8 | 児童は、友達と助け合いながら仲間と学校生活を送っている。 | 児童の様子・観察 | 86 | 学校での様子や友達のことを家でよく話している。 | 86 | 学校での様子や友達のことを、家の人によく話している。 | 88 | 授業において、ペア活動やグループ活動を多く取り入れることにより、助け合いの姿が見られた。困っている児童への声かけがやさしい言葉使いになった。 | 助け合うことの大切さを実感できる活動を行う。 | | |
| 健やかな体 | 基本的な生活習慣の形成と健康な生活の充実 | 9 | 家庭と連携し基本的な生活習慣（早寝早起き歯磨き）の形成を図っている。 | 生活リズムアンケート等 | 50 | 早寝・早起き・歯みがきの習慣が身に付いている。 | 82 | 早ね・早起き・歯みがきができています。 | 90 | 児童と保護者の双方から話を聞くことで実態把握ができた。放課後の過ごし方考えることで就寝時刻が改善された子がいる。 | 生活リズムアンケートで前回との比較を行ったり、日常的にも話を聞いていく。睡眠の大切さの指導を学級活動で行う。 | | |
| | | 10 | 家庭と連携し健康な生活（朝ごはん・好き嫌いなし）の充実を図っている。 | 生活リズムアンケート等 | 75 | 朝ごはんなど食事を好き嫌いせず食べている。 | 85 | 朝ごはんや給食を好き嫌いなく食べている。 | 87 | 児童と保護者の双方から話を聞くことで、実態把握ができた。 | 家庭との連絡を続けていく。生活リズムアンケートで前回との比較を行ったり、日常的にも話を聞いていく。3つの食品の大切さを指導する学級活動を行う。 | | |
| | | 11 | ゲームの時間やネット使用の約束など家庭と連携し、指導を行っている。 | 生活リズムアンケート等 | 40 | ゲームやインターネットの約束を守っている。 | 83 | 家で、ゲームやインターネット使用の約束や時間を守っている。 | 96 | アンケート結果を示すことは有効だった。家庭のルールをしっかりと作って守っている家庭が増えた。 | 日常的に言葉かけを行う。 | | |
| | | 12 | 体力アップ1校1プランの取り組み | 全校や学級での取り組み内容 | 96 | 体を動かすことが好きである。 | 96 | 運動をするのは、楽しい。 | 94 | スポチャレは目標を立てて取り組むことができ、児童がとても意欲的であった。ボールを投げる動作が少しずづ身につけてきている。 | 体育の授業にスポチャレを意識して組み込んでいく。スポチャレ週間は設定し、強化して取り組む。 | | |
| 特別支援教育 | 児童の特性に応じた支援の工夫 | 13 | 児童理解の会での共通理解や共通指導を徹底し、児童のより良い人間関係の構築に努めている。 | 児童観察・なかよしアンケート | 100 | 友達と仲間と学校生活を送っている。 | 98 | 友達と一緒に遊んだり、活動したりするのは楽しい。 | 100 | 児童理解の会で、自分の学級以外の子の様子も知ることができている。担任以外の先生からの情報やアドバイスも児童理解にとても役立っている。 | ・2学期も継続して取り組む。 ・早急に対応しなくてはいけない内容については、すぐに共通理解を行う。 | | |
| | | 14 | 学習面において、個に応じた指導を行っている。 | 個別指導の内容 | 100 | 学校は、学習面において1人1人に応じた指導をしている。 | 96 | 先生は、勉強が分らないとき、分かるように教えてくれる。 | 98 | 個別指導によって、児童から質問することが増えた。 | 2学期も継続して取り組む。 | | |
| | | 15 | 子どもの特性を理解し、困りごとを解決できるように支援している。 | 生徒指導の内容 | 100 | 学校は、子どもの特性（性格や困り感）を正しく理解している。 | 98 | 先生は自分の話を良く聞いてくれる。 | 98 | 児童から訴えがあった場合は、なるべくすぐに対応し、解決できた。 | 2学期以降も困り事を訴えやすい環境を作り、困り事を解決していく。 | | |
| | | 16 | 子どもの自己肯定感を高めるための取り組みや肯定評価に努めている。 | 児童会や学級での取り組み | 100 | 学校は、子どもの自己肯定感を高める取り組みをしている。 | 96 | 先生は、自分の良いところやがんばっているところをほめてくれる。 | 100 | 帰りの会での認め合いの時間や児童会の取組「ありがとうの木」により、自分では気づかない良さを知ることができた。 | 粘り強く肯定的な声掛けを続けていく。2学期以降も自己肯定感や自己有用感を高める活動を行う。 | | |
| 安心安全な学校 | 危機管理 | 17 | 避難訓練を通して非常災害発生時の避難行動の仕方等を身に付けさせている。 | 避難訓練振り返りカード | 100 | 学校は、避難訓練などを通して子どもたちの安全教育を行っている。 | 94 | ひなん訓練や交通安全教室で学んだことなど、安全に気をつけて登下校をしたり、学校生活を送ったりしている。 | 98 | 毎年繰り返すことで、どんな行動をとったらよいのか身に付いている。振り返りシートを有効活用できた。 | いろいろな場面を想定した避難訓練を実施し、自分で考えて行動できる児童を育てている。 | | |
| | | 18 | 保護者が連絡、相談したことに対して、誠意を持って対応している。 | 保護者への対応 | 100 | 保護者は、保護者が連絡、相談したことに丁寧に対応してくれる。 | 94 | 困ったことがあったら、先生に相談できる。 | 96 | 保護者からの相談を真摯に受け止め、対応することができた。 | 今後も継続して取り組む。 | | |
| | | 19 | 学校は、施設・設備の整備に努め、学校安全や環境美化に努めている。 | 安全点検・自問清掃 | 100 | 学校は、施設・設備の整備に努め、学校安全や環境美化に努めている。 | 96 | そうじの時間は、3つの玉をみがくようがんばっている。 | 96 | 校務員やスクールサポートスタッフが環境整備をしてくれるので、助かっている。 | 今後も継続して取り組む。 | | |
| | | 20 | 「報告・連絡・相談」を徹底を図り、協働的に課題解決に取り組んでいる。 | 「報告・連絡・相談」の内容 | 100 | 学校は、緊急メールやお知らせなどで、迅速に情報を発信している。 | 98 | 学校からのお知らせは、忘れずに家の人にもわたしている。 | 90 | 管理職や他の先生方と情報交換をスムーズに行い、今後の対応について確認することができた。 | 今後も早めの「ほう・れん・そう」を行う。 | | |
| 開かれた学校 | 家庭地域の連携 | 21 | 保護者や地域への情報発信を通じて、学校での教育活動の様子をわかりやすく伝えている。 | おたよりやホームページの内容等 | 100 | 学校は、学校だよりや、ホームページなどを通じて、学校での教育活動の様子を積極的に伝えていく。 | 98 | 学校だよりやホームページなどを通じて、学校での教育活動の様子を積極的に伝えていく。 | 98 | 学校だよりやホームページなどを通じて学校の様子を伝えることができた。 | 今後も継続して取り組む。 | | |
| | | 22 | 家庭読書週間、読書紹介カードなど家庭と連携しながら読書活動を推進している。 | 1ヶ月の目標読書冊数(10冊以上) | 100 | 家庭読書習慣以外にも、家庭で読書をする機会を持つようにしている。 | 89 | 朝読書以外にも読書をしている。(目標 1ヶ月10冊以上) | 85 | 国語の学習、学級文庫の紹介や入れ替えをこまめに行ったりやジャッフル読み聞かせて、新しい本に出会ったり、興味を持つ児童が増えたりした。 | 個人差があるので、本の貸し出しの確認を行う。 | | |
| | | 23 | 保護者や地域と連携を図り、PTA活動や教育活動を行っている。 | 学校行事・PTA活動内容 | 100 | 学校は、保護者や地域と連携を図り、PTA活動や行事等を行っている。 | 94 | 保護者とお便りや当日の日程について確認しながら進めることができた。 | 94 | 保護者とお便りや当日の日程について確認しながら進めることができた。 | コロナ禍で制約のある中、本校の課題解決に向けたPTA活動等を考えていただき実践する。 | | |
| | | 24 | 地域の素材をもとに学習活動を行ったり、地域の人材を活用したりして「ふるさと教育」を積極的に展開している。 | 地域の教育資源の活用状況 | 60 | 学校は、地域教育を活用したり、体験活動を取り入れたりしながら「ふるさと教育」を推進している。 | 98 | 全学年が、地域にゆかりのある施設や企業を訪ねたりしている。 | 98 | 全学年が、地域にゆかりのある施設や企業を訪ねたりしている。 | 1学期の児童の関心、疑問をもとに夏休み中に計画を立て、総合で地域の方や施設を活用した学習を行いたい。 | | |
| 活力ある教師集団 | 業務改善 | 25 | 研修・保護者・地域に信頼される教員集団作り | 勤務規律の遵守 | 100 | 全職員が勤務規律を遵守することができた。 | 98 | 全職員が勤務規律を遵守することができた。 | 98 | 全職員が勤務規律を遵守することができた。 | 常に教育公務員であるという自覚をもって過ごす。 | | |
| | | 26 | 組織的、計画的な人材育成による教職員の資質・授業力向上 | 校内授業研究等 | 83 | 既習を使ってできないかと既習とのつながりを意識する児童が増えた。 | 98 | 既習を使ってできないかと既習とのつながりを意識する児童が増えた。 | 98 | 既習を使ってできないかと既習とのつながりを意識する児童が増えた。 | 個人差に対応しながら、全員が積極的に授業に参加できるようにする。 | | |
| | | 27 | 業務改善とワークライフバランス | 業務改善とワークライフバランス | 83 | 週単位で計画を立てて、優先順位を立てて取り組んでいる。 | 98 | 週単位で計画を立てて、優先順位を立てて取り組んでいる。 | 98 | 週単位で計画を立てて、優先順位を立てて取り組んでいる。 | 目的を確認し直し、児童の活躍の場を増やすことを目指して計画していく。 | | |
| | | 28 | 業務改善に努め、最終退社時間（19時）を守るようにしている。 | 時間外勤務時間 | 83 | 週単位で計画を立てて、優先順位を立てて取り組んでいる。 | 98 | 週単位で計画を立てて、優先順位を立てて取り組んでいる。 | 98 | 週単位で計画を立てて、優先順位を立てて取り組んでいる。 | 見通しを持ち、適切に余裕を持ってすすめる。 | | |

